

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤JV

選別作業・焼却作業を完了します

2012年4月から行ってきた災害廃棄物と津波堆積物の選別作業が12月14日完了予定です。2012年4月23日に火入れしたキルン炉は12月14日焼却を終え、12月20日から解体工事にかかります。もう1基のストーカ炉も12月25日頃に焼却終了の予定です。

今後は、二次仮置場の施設解体と選別作業で生産したコンクリート再生骨材や津波堆積物選別土砂等の再生資材を復興現場へ搬出する作業がメインになります。再生骨材は新山下駅周辺地区市街化整備工事などへ、土砂は国土省の堤防工事などへ搬出します。

山元JV
寺崎工務担当
技術者より
ひとこと



7月に着任しましたが、あっという間に12月。ようやく処理の終わりが見えてほっとしています。

今後、処理場の解体やリサイクル材の搬出業務が続きますので、引き続き復興にむけ尽力させていただきます。

Q: 今年も「ふれあい産業祭」楽しかったですね！

A: 11月23日山元町役場において「ころろひとつに！ 山元町ふれあい産業祭」が開催され、昨年に引き続き当処理区も参加させていただきました。お馴染みの高さ15mからの景色を眺められる高所作業車には、昨年を越える、なんと700名以上の方にご乗車いただきました。併設されたラジコン広場では、たくさんのお子さんにクレーン車、ダンプやショベルカーなどの重機のラジコンを楽しんでいただきました。販売コーナーでは、タオル、Tシャツと缶バッジが販売され、中でも山元町で有名なりんごとイチゴのマークが入り、色は町鳥であるツバメをイメージした黒と白の2色を用意したTシャツは様々な方からご好評頂きました。販売コーナーでの売上金は山元町に寄付させていただきます。



処分量(11月30日現在)

		変更予定量(t)	累計処理量(t)	進捗率(%)	備考
搬入量	焼却量	117,000	128,321	110%	主灰: 42,395t、飛灰: 5,120t
	木くず	67,000	62,481	93%	
	混合ごみ	387,000	429,186	111%	
	コンクリートくず	170,000	220,910	130%	
搬出量	津波堆積物	513,000	788,104	154%	かさ比重は1.46t/m ³ とした
	コンクリート再生骨材	199,000	244,655	123%	新浜の仮置場等への搬出量
	津波堆積物処理土砂	782,000	1,111,449	142%	
	主灰搬出(小鶴沢)	13,500	7,226	54%	
	主灰搬出(亙理名取共立)	1,200	3,068	256%	
	飛灰搬出(仙南)	1,500	1,344	90%	

12月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破砕選別工】					
災害廃棄物	運搬、破砕		完了		
津波堆積物(二次仮置場)	運搬、選別		完了		
津波堆積物(後藤浦)	運搬、選別		完了		
焼却灰固形不溶化処理	固形・不溶化			完了	
【搬出工】					
津波堆積土砂	国土省堤防工事へ搬出				
コンクリートがら	山下造成へ搬出				
主灰	小鶴沢処理場へ搬出				
飛灰	小鶴沢処理場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉			キルン炉焼却完了	ストーカ炉焼却完了	
【焼却炉解体工】					
キルン炉				キルン炉解体	

焼却灰の放射能濃度

主灰	450Bq/kg	11月26日
飛灰	2120Bq/kg	測定

二次仮置場の空間線量(μSv/h) 11月20日測定

事務所前	0.038
木くず	0.055
コンクリートがら	0.068
津波堆積物	0.144
金属くず	0.076
主灰保管テント内	0.097
飛灰保管テント内	0.339

※地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(亙理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県亙理郡山元町高瀬宇浜砂1-4
電話: 0223-37-7451